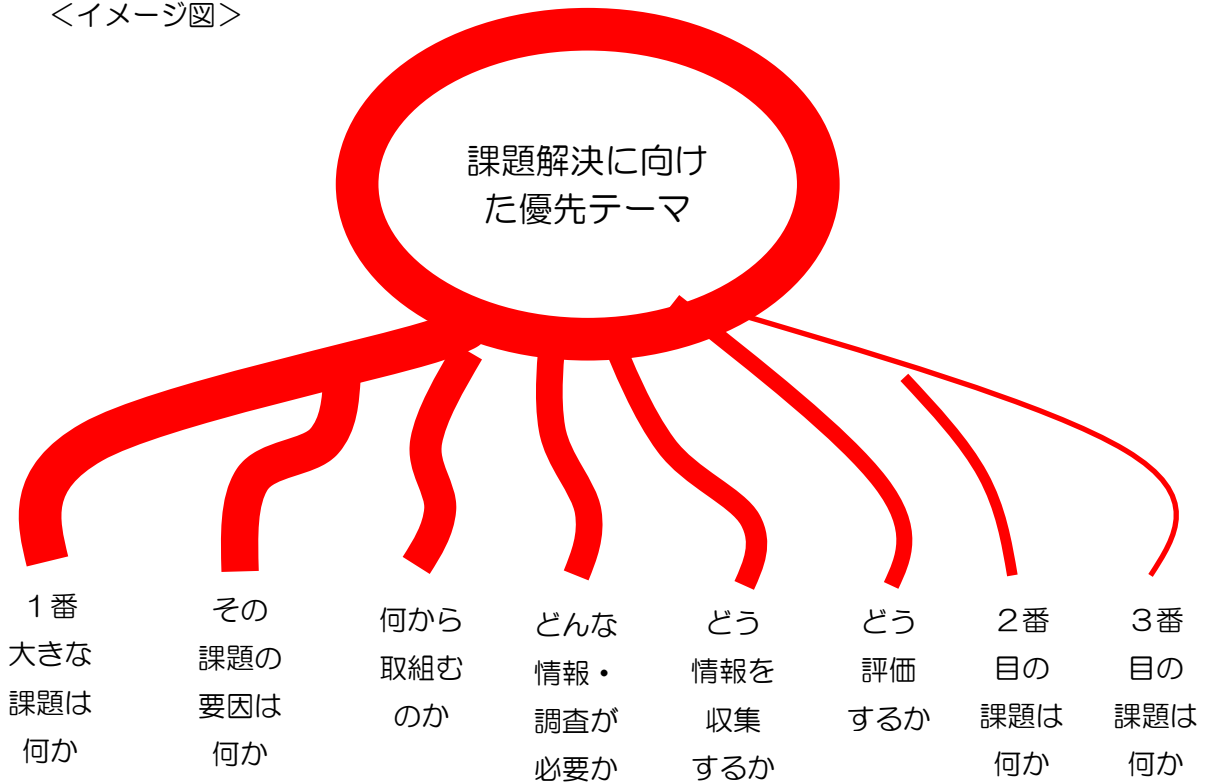


第6次高浜市総合計画推進会議による点検・確認結果【目標全般】

- それぞれのテーマに対する評価は、確実にレベルアップしている。実績の要因解析や今後も取組課題も見える化されており、行政の努力が評価シートに表されている。市民意識調査の回収率が50%以上になるよう、対策の検討が必要である。
- 「今後の取組みの方向性」について、優先度を決めるとともに、それぞれの課題は関連しあっていることもあるため、何が課題で最初に取り組むことは何かなどを、図解表示（例：タコ足手法）するとわかりやすいと思われる。

<イメージ図>



- 市民・行政・議会の三者が意見交換できるような場があると、計画と実行に対して、市民全体の理解度も高まり、あるべき姿も認識しやすくなるのではないかと考える。
- 状況の変化によっては、計画期間中に計画内容の見直し（例：目標値の変更）を行うことがあってもよいと考える。その方が、行政全体のPDCAが有効であるように感じられる。
- 行政と市民が徐々につながり始めた実感しているし、行政内部でPDCAを回すことが習慣づいた。それが、前期計画推進の力になったと思う。
- 部局間連携をすればもっと相乗効果が出るのではないかと考える。例えば、教育と土木が手を結んだらどうなるのか、福祉と環境が手を結んだらどうなるのかといった可能性を開発すると、もっとバランスのとれた市政運営ができるのではないかと感じている。